

鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 77号

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会

発行日 2018. 7. 7

編集 芳村恵子

丁度1か月前、久しぶりに通信76号を発行し、西上さんの活動を紹介させて頂きました。

引き続き、西浦さんより大変エネルギッシュな活動報告を頂きました。本当にありがとうございます。

通信77号を記念して、7月7日に発行させて頂くことにしました。皆様、今後ともどしどし活動報告をお寄せください。

笑顔いっぱいあふれる癒しの場 「岩美こども食堂」

西浦 公子

岩美町の「子どもの居場所づくり」推進事業の一環として、5月31日「岩美こども食堂」がオープンしました。



青少年アドバイザーや推進指導員として、青少年に関わるようになって、ン十年になります。内閣府の子どもの居場所づくりの研修会に参加したこともあり他県の取り組みなどを聞きながら「鳥取にもこのような子どもの居場所があればいいなあ〜」と漠然と考えていました。

3・4年前からテレビなどで、「子ども食堂」という言葉を頻繁に見聞きするようになり、子どもたちが生き生きとしている姿を見て、「子ども食堂は、子どもがホッとする場所なのだろうな」と考えていました。アドの会で、「こども未来塾」主宰者中谷靖氏や倉吉の「テラハウス」の主宰者の講演を聞いて、岩美町にも子どもだけでなく、親子でホッとする場としての「子ども食堂」を作りたいと思いました。

まず、昨年9月頃、岩美町役場に話を聞きに行き、NPO法人ワーカーズコープさんいんみらいを紹介されました。そこは、鳥取県全地域で子ども食堂を立ち上げたい人の手助けをする活動をされていて、「岩美こども食堂」の立ち上げにも全面協力いただきました。9月頃から様々な準備は、ワクワクもあり、も〜〜〜と思う事もありでした。

オープン初日は、申し込みのあった約30名の子どもと保護者、民生委員や議員さんなどのお客様、スタッフなど合わせて約70名の方の参加で、大混乱状態でした。が、前日よりスタッフが腕を振った、唐揚げ・おでん・やきそば・デザートなどのバイキング料理をみんなで美味しくいただきました。



その後、鳥取大学の奇術部の学生 4 人による、アッと驚いたり「??」と首を傾げたりなど、とてもたのしいマジックショーでした。



参加した子どもは、「友達と一緒に食べることができて嬉しかったし、マジックが面白かった。」親は、「安い値段で食べさせてもらって、大助かりです。」との感想でした。

20名近くの協力スタッフとともに、これからも地域のふれあいの場としての「岩美こども食堂」を、親子や友達・地域の方々と、美味しい食事や楽しくコミュニケーションすることで、笑顔いっぱいあふれる癒しの場となるようにしたいと思います。

「岩美こども食堂」の開催は原則として、第2・第4木曜日17時30分から20時まで。事前申し込みが必要。学習支援やみんなでゲームを楽しむ時間などもあり、利用料金は、子ども100円、大人200円。

食材などの寄付を受け付けております。ご協力よろしくお願いいたします。

先日7月3日、闘病中だった伊藤肇さんがお亡くなりになりました。鳥取県青少年育成アドバイザーの顧問として、長い間ご指導して頂きました。とても残念でなりません。心よりご冥福をお祈りいたします。

第三回友邦青少年交流記念

青丘書

愛和顔



編集後記

76号に引き続き、77号を発行させて頂きました。

このところ、日本列島のあちこちで地震が発生しています。大阪では9歳の女の子が倒れてきたブロック塀の下敷きになり、亡くなってしまいました。挨拶運動の担当で、いつもより早く登校していたと聞き、余計に胸が痛みました。ご冥福をお祈りいたします。

防災そして備えの一つに、地域に子ども達にとって「心身共に安全な基地作り」ができればいいですね。皆様のご投稿、お待ちしております。

通信担当 芳村